



パーソナリティ  
**藤田和宏**

『教育★サプライズ!』  
毎週土曜日12:30~13:00

**プロフィール**

●松陰高等学校  
みなとみらい学習センター センター長

高校中退/不登校の生徒と関わり25年。  
「とりあえず卒業」にこだわる親をたしなめながら  
『昭和式』教育?に基づいて、生徒らを心から回復させる事に尽力する熱血漢。

77.7こらむ  
COLUMN

大人が逃げて  
いませんか?

いませんか?

新年度の始まりは、1年間で一番不登校に関わる生徒・保護者と向き合う時期です。最近の傾向としては「明確な理由はないけど、学校に行きたくない」が目立ちます。ひと昔前は「学校に行かないことはダメ!」という価値観が一般的でしたが、最近では「学校を絶対視する社会にも課題がある」という声も一定数を占めるようになり、「多様性」という錦の御旗の下、不登校もある程度認められ、加えて我々のような通信制高校などの受け皿も完備されたことで、様々な選択肢が存在するようになってきました。

ただ選択肢が増えるほど悩むのが人間、さらに「それもアリだよな」なんて、何でもかんでも「肯定」されてしまうと、最終的には「個人の問題」として片づけられてしま

い、子供たちは誰にも相談できない状況に追い込まれてしまいうわけですね。これが現代の生きづらさの正体の一つということに皆さんは気づいていますか?

では大人はどんな対応をすべきか?私が最も忌み嫌うのは「正論攻撃」。「無理するな」「自分のペースでいいんだよ」などなど。もちろんコミュニケーションを重ね、子供の精神状態なども考慮してのことなら、最適解になる場合はありますが、基本スタンスとしては大反対!私に言わせれば、相談された大人が逃げていますね。「簡単に言わないでよ、それができないから悩んでいるんだよ…」となるのがオチです。(正論なんてそんなモン)

まずは、子供たちが今考えている「より良い自分の在り

方」を引き出して欲しいのです。たとえそれが大人(あなた)の「常識」と合わずとも、ひとまず受け入れてみる。そのうえで「私なら〇〇する」「私は〇〇と考える」などと投げかけながら、「個人」ではなく「二人の課題」として共有するスタンスで接するのです。答えを急がず、放置せず、そして一人にさせないことが大切です。



**ふくりこ・やまと**

**小さな負担で大きなサービス 一人月額500円**

**中小企業で働く皆様のために福利厚生をお手伝い**

\*加入できる方は大和市内の中小企業に勤務する勤労者(事業主及び従業員)です。

**ペネフィット・ステーション利用可能!**

「ふくりこ・やまと」に加入しませんか?

様々な制度をご用意! 従業員の生産性向上や健康維持増進が期待でき、会社への満足度を高めます。会社の魅力もアップし、優秀な人材の獲得従業員の定着率向上にも繋がります。詳細はHPをご確認ください。



ふくりこやまとHP

お問い合わせ

大和市勤労者サービスセンター 大和市中心5-1-4 大和商工会議所内  
TEL 046-264-6780 FAX 046-263-6341

大和の文化の発信基地にしたいと始めた『三富 夢現スタジオ』。

15年の間に、多くの芸人や作家、ミュージシャンたちが夢を追いかけ、ステージに立つてきました。

「夢、現れ、夢、現実となる」をコンセプトに、あなたの夢を、応援します。



**三富  
夢現スタジオ**

〒242-0029 大和市上草柳162-5  
TEL&FAX.046-261-0613

<http://mugen.cc>